

物理学第一分野修士論文発表会プログラム

下記の通り、修士論文発表会を開催致します。

日 時	2022年1月31日 (月) 9:00~17:50 2022年2月 1日 (火) 9:00~15:10
場 所	理学研究科5号館 5階・第四講義室 (525号室) +Zoom
発 表	15分 (別に質問時間5分程度)

発表の順番及び題目は次の通りです。

2022年1月31日 (月) 9:00~17:50

1. ワイル半金属 $Td\text{-WTe}_2$ における赤外光誘起構造変化
青木 涼太 (9:00)
2. Sr_2RuO_4 の超伝導における電流下での面内2回対称性
荒木 遼 (9:20)
3. 超流動 ^3He -A 相におけるカイラルドメンの空間配置に対する流れの効果
生貝 悠人 (9:40)
4. Kitaev 磁性体 $\alpha\text{-RuCl}_3$ を用いた薄膜デバイスの研究
大湊 浩明 (10:00)
5. RuCl_3 薄膜の相制御と原子パターン形成
小野 孝浩 (10:20)

10:40~10:50 休憩

6. 鉄系超伝導体における量子幾何学
北村 泰晟 (10:50)
7. 空間反転対称性の破れた近藤強磁性体における非線形応答の研究
品田 晃希 (11:10)
8. 和周波分光を用いた単層遷移金属ダイカルコゲナイド励起子状態の解明
高橋 伸弥 (11:30)
9. Dirac 線ノード超伝導体 CaSb_2 の核磁気共鳴/核四重極共鳴による研究
高橋 秀光 (11:50)
10. 非エルミート表皮効果における乱れに関する研究
中井 雄介 (12:10)

12:30~13:30 昼休み

11. パウリ常磁性の強い系における高磁場渦糸状態と超伝導揺らぎの理論
中島 大 (13:30)
12. 外力駆動下でガラス的振る舞いを示す格子模型
布谷 幹太 (13:50)
13. リオトロピックネマティック液晶とコロイド粒子間の動的結合
花田 康佑 (14:10)
14. コロイドの不可逆凝集によるネットワーク構造とその形成ダイナミクス
平田 光一 (14:30)
-

14:50~15:00 休憩

15. 古典通信のみ用いた Certified Deletion 付き公開鍵暗号
廣岡 大河 (15:00)
16. フラストレーションを内在する希土類化合物の低温磁気状態の研究
堀 文哉 (15:20)
17. キタエフ磁性体 α - RuCl_3 における Planar 熱量子ホール効果
横井 太一 (15:40)
18. 非エルミートキタエフ鎖における基底状態の縮退の安定性
岡 大翔 (16:00)
-

16:20~16:30 休憩

19. 絨毛虫集団の実験測定に基づく界面付近の運動に関する確率論モデル
奥山 紘平 (16:30)
20. 2波長同時照射による分子マニピュレーションの高解像度化
川西 永起 (16:50)
21. 固浸レンズを用いた量子気体顕微鏡による光格子中単一イッテルビウム原子の観測
北村 紀貴 (17:10)
22. ノイズ印加された非線形 Schrödinger 方程式における rogue wave 的発達
酒井 亮 (17:30)

2022年2月1日(火) 9:00~15:10

23. 超伝導体における新奇圧電現象の研究

茶園 宙弥 (9:00)

24. 光格子中冷却 SU(N)フェルミ気体 - 散逸およびスピン不均衡系の量子磁性 -

本多寛太郎 (9:20)

25. 遊泳微生物の集団ダイナミクス測定と解析手法の開発

今西 遼人 (9:40)

26. Kitaev スピン液体候補物質 α -RuCl₃における磁場誘起トポロジカル相転移

鶴飼 柚希 (10:00)

27. カゴメ超伝導体 CsV₃Sb₅ の比熱異方性

小畑 慶人 (10:20)

10:40~10:50 休憩

28. SiC-PEG による Slippery 界面の安定化

金澤 和律 (10:50)

29. 核磁気共鳴による多元素ナノ粒子の研究

木下 雄大 (11:10)

30. 2軌道光格子量子シミュレーター:

キング関係式による新粒子探索とアンダーソン直交性崩壊への応用

齋藤 優冴 (11:30)

31. 空間反転対称性の破れた電子流体力学における非従来の量子輸送現象

佐野涼太郎 (11:50)

32. 共鳴トンネルダイオードテラヘルツ発振器における周波数混合過程

島ノ江 励 (12:10)

12:30~13:30 昼休み

33. 紫外線レーザーを用いた分子マニピュレーション

高富士愛子 (13:30)

34. 液体 ³He のスピン流とスピンドイナミクス

寺木 陽和 (13:50)

35. フォノン側線発光解析によるダイヤモンドの励起子基礎特性の解明
戸田倫太郎 (14:10)
36. 単一イッテルビウム原子を用いた量子計算に向けた
光ピンセットアレイシステムの開発とリドベルグ分光
中村 勇真 (14:30)
37. 情報理論的に健全な BQP 決定問題の古典検証を
可能にする Trusted Center モデルの研究
米川 岬 (14:50)